

中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、江戸と京都を結ぶ幹線道路として、海沿いを行く東海道と並び日本の大動脈でした。

延長132里余(530キロメートル)。木曾の山中を通ることから、俗に木曾街道・木曾路とも呼ばれ、碓氷峠や和田峠などの難所も多くありました。しかし、東海道に比べて大川がなく、川越しや川留めなどの障害が少なく、夏は涼しいという利点があったので、参勤交代の大名行列はもちろん、幕末の和宮の御降嫁をはじめ諸姫宮の通行や日光例幣使の通路としてもよく利用された街道です。

中山道の面影を探す旅へ



旧中山道ガイドマップ

中山道の面影を訪ねて歩く

群馬県安中市

街道旅・よりみち情報

道中には六十九の宿駅が設けられ、そのうち現在の安中市内には、板鼻・安中・松井田・坂本の四つの宿が置かれました。また、宿から宿までの間の「間の宿」として原市・五料・横川などの街村があり、横川の地には、東海道の「箱根の関所」と並ぶ「碓氷の関所」が置かれていました。

峠越えの過酷な旅の道中でも、人々は宿で憩い、山河の風景に癒され、土地の名物を味わったことでしょう。

安中市内の旧街道沿いには、安中原市の杉並木、五料の茶屋本陣、碓氷関所跡など、往時の面影を残す史跡が数多く点在します。街並みは変わっても、山や川の風景などの中に、浮世絵に描かれたままの姿を見つけることができます。

江戸時代の旅人になった気分、中山道の旅をお楽しみください。



碓氷第三橋梁(めがね橋)

明治25年(1892)に完成した煉瓦造り4連アーチ式の鉄道橋。新緑や紅葉に映える赤い煉瓦のアーチは撮影スポットとしても人気。

碓氷峠鉄道文化むら

碓氷峠の鉄道の歴史を展示する鉄道資料館。鉄道車両の野外展示やトロッコ列車の運行もある。

アプトの道

信越本線アプト式鉄道時代の廃線跡の約6km(横川駅から熊ノ平の間)を遊歩道として整備。

旧丸山変電所

碓氷線電化のため旧国鉄が全国で初めて建設した変電所。純煉瓦造りの建物が鉄道の歴史を伝える。

磯部温泉

温泉記号発祥の地として知られる磯部温泉は、近在からの湯治客でにぎわった温泉地。歩き疲れたら足湯もおすすめ。

霧積温泉

群馬と長野の県境沿い霧積川の水源近くにあるひなびた情緒が漂う秘湯の宿。

奥州街道
日光街道
甲州街道

ACCESS MAP

車

更埴JCT	長野自動車道	松井田妙義IC	国道18号	安中	
長岡JCT	北陸自動車道	上信越自動車道	松井田妙義IC	国道18号	安中
練馬IC	関越自動車道	上信越自動車道	松井田妙義IC	国道18号	安中

JR

東京駅	北陸新幹線	安中榛名駅	長野駅	北陸新幹線	安中榛名駅	
東京駅	上越新幹線	高崎駅	碓氷駅	上信越本線	横川駅	
		約60分	約50分	12分	6分	15分

観光問い合わせ

名称	電話
安中市観光課	027-382-1111(代)
(一社)安中市観光機構	027-329-6203
磯部観光温泉旅館協同組合	027-385-6555

碓氷峠の力餅

峠を往来する人々に峠の茶屋でふるまわれたといわれる碓氷峠菓業。

碓氷峠のせんべい

磯部温泉の鉱泉水を使った軽い食感の薄焼きせんべい。江戸末期から変わらぬ伝統の味。

お泊りは...

●宿泊施設 ●磯部温泉 ●霧積温泉 ●旅館等 市外局番 027

名称	電話	名称	電話
ホテル磯部ガーデン	385-0085	ビジネス旅館みどり荘	385-6910
桜や作右衛門	384-0088	旅館泉泉荘	381-1652
磯部館	385-6411	ビジネスホテル宝泉	385-5050
旭館	385-3434	ビジネスホテルKAWA	381-1159
見晴館	385-6934	まついだ森の家	393-0655
小島屋旅館	385-6534	碓日のお宿 東京屋	395-2157
高台旅館	385-6006	くつろぎの郷コテージ	380-4180
金湯館	395-3851	ホテルルートイン安中	050-5847-7330
民宿 中仙道	385-6304	湯沢館	381-0287
古久家旅館	381-0525	ゲストイン八城の杜	393-4771
いこい旅館	382-0050		

「五街道」とは

江戸・日本橋を起点とし、徳川幕府が直接管理した五つの陸上交通路。中山道のほか、東海道、甲州街道、奥州街道、日光街道があります。徳川家康が全国支配を盤石にするため慶長6年(1601年)から交通網の整備を始め、四代将軍家綱の代になって基幹街道に定められました。

五街道は幕府の道中奉行が管理し、接続する脇往還は地元の藩が管理。これらの街道には宿駅が設けられ、公用の書状や荷物の運搬取次ぎを行う問屋場、公用人の宿泊施設として本陣・脇本陣、一般旅人のための旅籠が設けられました。また、街道筋には一里(約4km)ごとに一里塚が設けられ、旅人の便宜を図りました。

中山道六十九次

東海道五十三次

板鼻宿

中山道で唯一の「徒歩渡し」



中山道の中でも特に大きな宿場町でした。関東の防衛のために、碓氷川に橋を架けることが長く禁じられていたのが、中山道で唯一の「徒歩渡し」の難所でした。増水して川止めになると、解除になるまで多くの人や物資があふれてしまうため、伝馬宿場としての役割から栄えたといわれます。



4 旧碓氷郡役所

県内で唯一現存する郡役所の建物。安中市の杉並木から10本を建築用材として使用している。



5 安中教会

安中藩士の長男として生まれた新島襄の伝道を受け継いで、明治11年(1878)に創立した群馬県初のキリスト教会。



6 旧安中藩郡奉行役宅

古くは藩士の側近山田氏が、その後は猪狩氏が領内の農民統治を担った郡奉行として住んでいたと伝えられる。



7 旧安中藩武家長屋

かつて安中城西門のすぐ東にあった茅葺きの4軒長屋を復元。井戸も掘られ、往時の暮らしを偲べる。



8 安政遠足の碑

安政2年(1855)、安中藩主・板倉勝明が藩士の心身を鍛えるため、碓氷峠の熊野神社までの7里余り(約29km)を走らせたといわれ、これを「日本マラソンの起源」として、毎年5月の第2日曜日に「安政遠足侍マラソン」が開催される。



松井田宿

2軒の本陣と関所跡



比較的規模の小さな宿場町。下木戸から上木戸まで約700メートル。街道沿いには、江戸末期から昭和初期に建てられた旧商家、土蔵、旅館などが点在し、往時をしのべます。宿場を出ると街道筋から、眼前に妙義山の雄姿を望むようになります。



14 横川茶屋本陣

碓氷関所のすぐそばにある茶屋本陣。関所を越える大名が服装を正したり、越えてきた大名が通常の旅支度に替えたりするために利用された。



15 碓氷関所跡

東海道の箱根関所とともに二大関所といわれた碓氷関所。復元された東門と資料館が往時のようすを伝える。



17 剗石坂

溶岩節理の角ばった石がゴロゴロしている急坂。馬頭観音や大日尊などの石塔が並んでいる。



16 坂本宿下木戸

坂本宿に入る江戸側の入口に復元されている。「明六つ」(日の出約30分前)に木戸を開け、「暮六つ」(日没約30分後)閉めた。ここから真正面に剗石山が見える。坂本宿の峠側には上木戸がある。



18 眺から見た坂本宿

剗石坂を登りきった「眺」からは、坂本宿を一望する絶景が広がる。江戸時代から景色の良い場所として知られ、俳人小林一茶も「坂本や 杖の下の 夕ひばり」という句を残している。



19 熊野神社

上信国境上に建つ珍しい神社。上野国側では熊野皇大神社と称され、社殿には賽銭箱と鈴も二つ並ぶ。この神社から先は信州に入る。



坂本宿

峠越えの旅人でにぎわった

横川から葉師坂を登って坂本宿へ。碓氷峠を越えてきた旅人や、厳しい取調べの碓氷関所を通り抜けた旅人から碓氷峠を越えようとする旅人で大変にぎわっていたといえます。ここから峠越えに向かうことから、馬とその人足は多く置かれていました。



12 松井田城跡

松井田城安中郭は、永禄2年(1559)安中忠政の時に築城。その後の変遷を経て、天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原征伐の際に廃城となった。中世の山城の構造をよく残す。



13 五料の茶屋本陣

江戸時代の五料村の名主屋敷。参勤交代などで中山道を通する大名や公家、幕府の役人などの休憩所(茶屋本陣)として利用されていた。お西・お東の2棟あり、往時を偲ばせる。



10 安中市の杉並木

江戸初期に中山道が整備された際に植樹されたといわれる。天保15年(1844)には732本を数えた。明治期、旧碓氷郡役所や前橋の臨江閣などの建築用材としても使われ、現在では10数本が残るのみ。

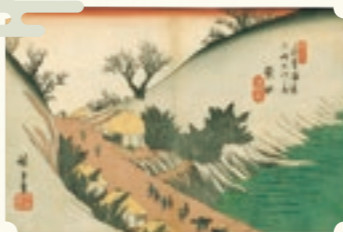


9 新島襄旧宅

安中藩士の長男として生まれ、キリスト教の伝道に努めた新島襄。アメリカから帰国した妻が、両親と再会した家が遺され、彼の活動を伝える資料館となっている。

11 旧碓氷社本社事務所

群馬県では江戸時代から座繰りと呼ばれる技法で盛んに製糸が行われていた。明治になって器械製糸が始まった。この建物は明治38年(1905)築の近代和風建築。



安中宿

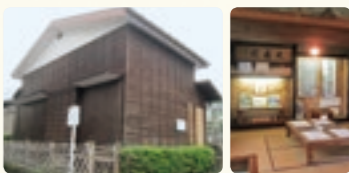
城下町の名残を色濃く残す

元々「野尻の郷」として東山道の頃から宿場でしたが、永禄2年(1559)に安中忠政がこの地に城を築き、地名を安中と改めました。江戸時代には三方石の城下町となり、再現された奉行役宅や武家長屋など城下町の名残や、幕末から明治初期の歴史的建造物も多く残っています。



2 板鼻堰

約400年前に造られた全長約15kmの用水路。板鼻宿の裏手を流れ、生活用水として使用されていた。かつてはこの用水で鯉の養殖が盛んだったという。



1 板鼻宿本陣跡(皇女和宮御仮泊所)

本陣の書院に幕府へ降嫁した孝明天皇の皇妹和宮親子内親王が仮の宿として宿泊された。書院の床下には伊賀忍者が隠れて警護したという。



3 蓮華寺

名僧・栄朝禅師の木彫りの座像が納められている寺。中宿を仮宿とした際、冬の池に蓮の花が咲いたことから蓮華寺を開いたといえられる。



街道歩き旅